



生活協同組合 コープみえ



つながりあう安心、笑顔が輝く暮らし

コープみえ サステナビリティ レポート

2026



コープみえ
キャラクター
みえっぴい

コープみえの事業、社会、環境活動の報告書です。
コープみえSDGs行動宣言に沿って
2025年度の活動をまとめました。



サステナビリティとは

「持続可能性」を意味しており、「環境」、「社会」、「経済」をテーマに地球環境や社会システムを維持・発展させようとする考え方です。

サステナビリティレポートの発行にあたって

2026年6月
生活協同組合コープみえ
まつもと こういち
理事長 松本 宏一



平素より、コープみえの事業と活動に格別のご理解とご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。
このたび、関係者の皆様に向けて、本サステナビリティレポートを通じ、2025年度におけるコープみえの事業と活動についてご報告いたします。

私たちコープみえは、「組合員の暮らしをよくする」という変わらぬ目的のもと、「つながりあう安心、笑顔が輝く 暮らし」という基本理念を掲げ、組合員の皆様、そして地域の皆様とともに、三重県内において事業と諸活動をすすめてまいりました。

その中で、私たちを取り巻く社会環境は大きく変化しています。気候変動をはじめとする環境問題は一層深刻さを増し、また、ウクライナ情勢の長期化や武力衝突による中東情勢の不安定化など、国際社会においては平和と安全が脅かされる状況が続いています。こうした情勢は、地域でくらす私たちの生活に直結しています。

私たちのくらしは、誰もが安心してくらし続けることのできる地域社会があってこそ成り立ちます。そしてそれは、持続可能な自然環境と、平和で安定した社会があってこそ実現するものです。

地域づくりは、コープみえの重要な役割です。私たちは、現在を生きる人々のためだけでなく、次世代に安心してくらす地域を引き継ぐため、サステナビリティの視点を重視し、事業と活動のより一層の充実・強化に取り組んでまいります。今後とも、皆様の変わらぬご指導、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



コープみえの事業



* 宅配タノモット事業

毎週1回、決まった曜日に指定された場所に商品をお届けしています。商品の受取方法は、くらしに合わせて、班、個人などから選んでいただけます。商品の主な仕入先は東海の3生協（コープあいち、コープぎふ、コープみえ）でつくる東海コープ事業連合です。



* 福祉事業

「安心」「笑顔」「健やか」「想い」「共有」を大切に、利用者一人ひとりに合った自立をめざしたサービス提供に心がけ、福祉サービスをすすめています。



* 店舗事業

まつさか店（松阪市）とみやがわ店（伊勢市）の2店舗があります。組合員にとって必要なお店、私のお店と思ってもらえる店づくりをすすめています。



* くらしの事業

くらしに役立ち、より豊かにするために、共済事業、夕食宅配、葬祭、宅配灯油、保険、すまいの事業、その他の斡旋サービス事業などをすすめています。



● 組織の概況（2026年3月20日現在）

名称	生活協同組合コープみえ
設立	2003年3月21日
本部所在地	〒514-0009 三重県津市羽所町379
事業エリア	三重県全域
組合員数	212,700人
出資金（10千円）	51億8,068万円
加入率	27.8%
役員	理事23人 監事5人
職員数（出向者含む）	ゼネラル（正規職員） 252人 ジョブ（パート職員） 217人
子会社 スマイルサービスみえ	事業高 4億3,743万円

● 事業所・事業内容

宅配事業9センター	桑名、四日市、鈴鹿、津宅配、津南、松阪、紀北、伊勢、伊賀
ステーション	のぞみの里ステーション、みやがわステーション ※桑名センター、四日市センター、鈴鹿センター、津南センター、松阪センター、紀北センター、伊賀センターは、センターで受け取りをしています。
店舗事業2店舗	まつさか店（松阪市） みやがわ店（伊勢市）
福祉事業1事業所	福祉サービスセンター松阪（松阪市） 事業内容：通所介護事業 居宅介護支援事業 訪問介護事業
くらしの事業	共済事業（受託）、夕食宅配事業 斡旋サービス事業

● 経営状況（2025年3月21日～2026年3月20日）

総事業高	239億1,647万円
供給高合計	233億178万円
福祉事業収入	4,225万円
その他事業収入	5億7,243万円
事業総剰余金	54億6,145万円
事業経費	49億82万円
事業剰余金	5億6,062万円
経常剰余金	6億4,426万円

● 関連組織紹介

生活協同組合連合会 東海コープ事業連合	東海3生協（コープぎふ、コープあいち、コープみえ）が出資し、会員単協の商品、物流、情報システム等を合同し、事業を推進しています。
株式会社 コープサービス東海	東海3生協、東海コープ事業連合が出資し、損害保険代理事業、生命保険募集に関わる業務を行っています。
株式会社 スマイルサービスみえ	コープみえの子会社として、宅配や夕食宅配の配送業務、施設・設備の保守・管理・清掃業務、くらしの便利屋等を行っています。

基本理念

「つながりあう安心、笑顔が輝く 暮らし」

～ 平和な社会を未来へ引き継いでいきます～

コープみえは、2030年ビジョンの取り組みを通してSDGsゴールに貢献します。
「2030年ビジョン」と「SDGs」の基本的な考え方やめざす方向は同じです。コープみえは、ビジョンの実現に向けた事業と活動を通して、SDGsの達成に貢献できるようにします。
ビジョンに掲げられているキーワード「地域」「食と健康」「人」を、コープみえのSDGs宣言で掲げた7つの取り組みとつなげて考えることで、コープみえの取り組みとSDGsのそれぞれの目標とのつながりを分かりやすく伝え、ひろげていきます。

私たちがめざすビジョンを、SDGsに沿ってさらにすすめます。

ビジョン

3つのビジョン

ビジョン 1

安心して暮らし続けられる地域社会づくりをすすめます

- ① 地元メーカー、生産者の商品を通して産業と地域の活性化をはかります
- ② すべての地域で組合員が事業と活動に参加しています
- ③ 各協同組合の強みを出し合って、SDGsの実現をめざします
- ④ 世界平和の実現に貢献します
- ⑤ 事業と活動を通して、脱炭素社会への取り組みをすすめます



ビジョン 2

よりよい「食と健康」のある暮らしをめざします

- ① 安全・安心なものを手に取りやすい価格でお届けします
- ② 食品ロスを減らす仕組みをつくります
- ③ 子どもたちへ安定した食事と健康を提供します
- ④ 全ての人が健康的な生活を送るための情報を提供します



ビジョン 3

すべての人への配慮や思いやりを大切にします

- ① だれもが利用しやすい仕組みをつくります
- ② ジェンダー平等・障がいのある人をはじめ、あらゆる人が活躍できる場所をつくります
- ③ 地域のつながりをつくることで、地域の困窮への助けあいの輪を広げます。
- ④ 人と地域に役立つような人づくりをすすめます
- ⑤ 気持ちがよいあいさつを心がけ「まち」の治安に貢献します
- ⑥ 育児、介護で悩んでいる人へのサポートをすすめます



※2030年ビジョンのイメージイラスト

宅配統一ブランド「タノモット」誕生!

「地域に根ざした、頼もしい存在」として東海3生協で、宅配統一ブランド「タノモット」と名称を新たにしました。
この名前には、「私たちの暮らしのこと、私たちの住むまちのこと、一番わかっているコープ」として、もっと便利で、もっと頼もしい存在になりたいという決意が込められています。



コープみえの歩み 年表

“つながりあう安心、笑顔が輝く 暮らし”の基本理念のもと、組合員との絆を大切に、地域や行政・諸団体、メーカー・生産者と連携し、持続可能な社会の実現に向けて取り組んできました。

2003年	4生協合併「生活協同組合コープみえ設立」
2004年	環境キャンペーン寄付金贈呈開始
2005年	被ばく60年 被爆体験文集発行
2006年	子育てひろばスタート
2007年	注文電卓からOCR注文へ変更
2008年	コープ手作り餃子重大事故が発生
2009年	葬祭サービス「まどか」を定型事業としてスタート
2010年	伊賀センター開設 組合員数15万人を超える
2011年	東日本大震災 復興支援に取り組む
2012年	夕食宅配事業スタート
2013年	コープみえ設立10周年みえっぴ誕生
2014年	福祉サービスセンター松阪が開所
2015年	四日市センター開設、コープみえ本部が津駅前に移転
2016年	福祉サービスセンター松阪で訪問介護事業開始
2017年	ほほえみ制度改正(赤ちゃんサポート、免許証返納サポート)
2018年	第1回福祉活動寄付金贈呈式
2019年	第17回通常総代会でSDGs行動宣言
2020年	生産者支援活動 コロナ禍で休校による牛乳の利用呼びかけ
2021年	みえ支え「愛」募金により紺綬褒章受章
2022年	ユニセフ ウクライナ緊急支援募金に取り組む
2023年	災害時における各種協定を16市町と締結
2024年	みやがわ店リニューアルオープン、コールセンター開設
2025年	地域見守り協定を31自治体・団体と締結

「コープみえSDGs行動宣言」 ～SDGsを実現するための7つの取り組み～

SDGs(持続可能な開発目標)を組織と地域の中にひろげあい推進します。

コープみえでは、2019年第17回通常総代会で「SDGs行動宣言」を採択しました。

SDGsの達成目標は、これまで生協が大切にし、取り組んできた活動や事業そのものといえます。

「2030年理念・ビジョン」のもと、「コープみえのSDGs行動宣言」をすすめるとともに、私たち組合員が希求する基本理念とビジョンの達成をめざし、2030年に向けて引き続き協同の力で持続可能な開発目標(SDGs)の実現に貢献していきます。

SDGsとは

SDGs(エス・ディ・ジーズ)とは、2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ(行動計画)」に記載された、国際的な取組目標である「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)の略です。持続可能な世界を創出するために、2030年までに全ての国や地域で取り組むべき17の目標とそれを達成するための169の具体的な取組内容、取組の成果を計るための232の指標で構成されています。



2030年到達目標(めざすもの)

	SDGs 7つの取り組み	主な到達目標(めざすもの)
①	持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方を見直していきます	・地元産商品の取り扱いが増え、県内企業及び生産者と連携した取り組みの展開 ・地元商品の利用点数
②	地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーを利用・普及します	・CO ₂ 総排出量=802t以下 ・60%削減(2013年比)
③	世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動を推進します	・フードバンクなどへの提供数 ・子ども食堂の数 ・食品廃棄量の重量と金額
④	核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動を推進します	・日本が核兵器禁止条約に批准 ・平和についての署名数・募金額
⑤	誰もが安心して暮らし続けられる地域社会づくりに参加します	・組合員数28万人 ・災害協定 全29市町
⑥	健康づくりの取り組みをひろげ、福祉事業・助け合い活動をすすめます	・健康情報の提供数 ・食育の情報提供数、学びと体験の場づくりの数
⑦	ジェンダー平等(男女平等)と多様な人々が共生できる社会づくりを推進します	・障がい者雇用率 法定雇用率の確保 ・管理者に占める女性職員比率20%以上 ・有給休暇の取得率70%以上

菰野町と「地域共生社会の実現に向けた協定」締結

菰野町とコープみえは、地域社会の活性化と住民サービスの向上を目的とした共生社会の実現に向け、包括連携協定を締結しました。

協定締結により、これまで培ってきた災害支援の経験を活かし、菰野町における防災訓練への積極的な参加や、災害時における子どもたちの心のケア(子どもにやさしい空間/CFS)の啓発活動などを含め、より一層連携を強化しています。



三重県推進認証マーク登録

三重県がすすめるSDGs推進パートナー制度に登録されています。地域みなさんとともに積極的な取り組みをすすめています。

認証登録制度とは

三重県内における企業や団体等のSDGsに向けた取り組みを見える化し、県が後押しすることで持続可能な社会の実現をめざすことを目的とした制度です。



「まさか店の移動販売」

コープみえの移動販売がスタートしました。

松阪市とコープみえは、2017年に「高齢者にやさしいまちづくりに関する協定」を締結しており、社会福祉協議会と一緒に地域住民の要望を聞くなかで実現しました。

週5日間、松阪市内外の広範囲の地域を巡り、自宅近くで買い物ができるサービスで、コープ商品や新鮮な地元の野菜や肉、果物などが利用できます。



なくてはならない存在に

「食」は毎日の暮らしの中で欠かせないものであり、買い物にお困りの地域住民にとって「なくてはならない存在」になっています。

移動販売先では、「待っていたよ」と温かく迎え入れていただいています。

地域の見守り役としての使命も

移動販売は、商品をお届けするだけではなく「地域の見守り役」としての使命も担っています。担当職員は、しばらくお顔をお見かけしていない方がいらっしゃいましたら、地域の社会福祉協議会へ連絡をして様子を見てもらうなど、地域のセーフティネットとしての役割も果たしています。



担当職員の声

「気軽に買い物ができるようになって、買い物が楽しい」、「商品がおいしかった」等の感想をいただくと、自分の事のようにうれしく思います。



「離島への商品お届け」

三重県には離島振興法に基づく「離島」として指定されている島が6つあります。伊勢センターではそのうち4つの離島（神島・答志島・菅島・坂手島）へ対し、買い物が不便な島のみなさんのために「離島便」で商品を週1回お届けしています。



神島で地域と連携し、試食会を開催！

三島由紀夫の小説「潮騒」の舞台としても知られる神島ですが、店舗がないため島民の方々は鳥羽港への定期船を利用して日々の買い物をされています。社会福祉協議会神島内支部やNPO法人のみなさんの協力を得て、コープ商品の魅力や生協がくらしをどのようにサポートできるのかを知っていただく機会として試食会を開催しました。



誰もが安心してくらし続けられることをめざした地域との協定

地域の問題解決や地域社会づくりへの参加として、行政や社会福祉協議会と地域の見守りに関わる協定、生活困窮者の支援に関わる協定、災害に関わる協定を各地域ですすめています。

地域見守り協定（ネットワーク含む）

地域見守り
高齢者等の見守りと支援に関する協定とは

配達等の訪問先で高齢者、障がい者、子ども及び子育て家庭に異変を察知した場合に、連絡等の必要な対応を行う協定です。

生活困窮者自立支援協定（地域共生社会含む）

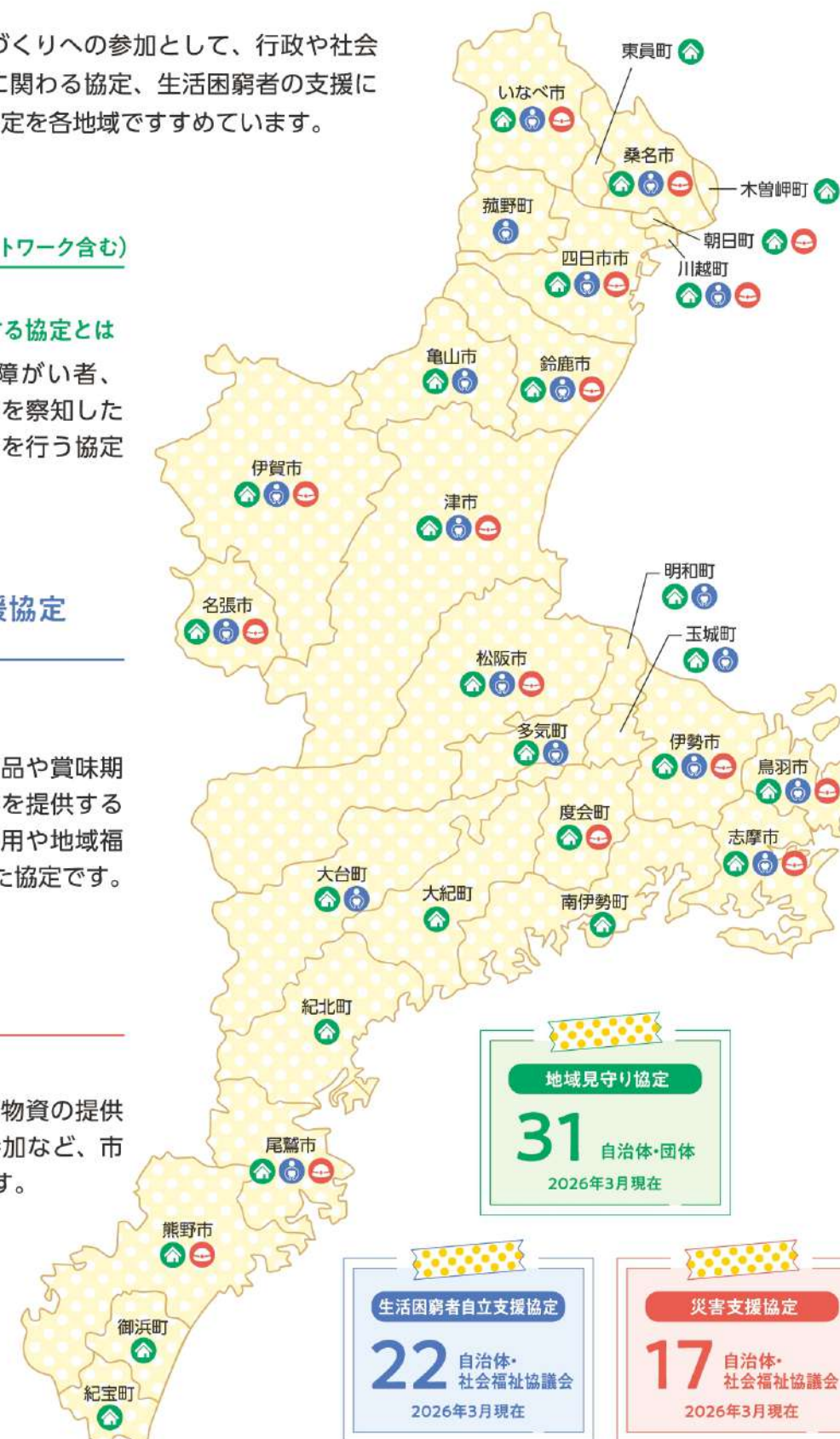
生活困窮者自立支援事業の連携に関する協定とは

コープみえで保有する余剰商品や賞味期限が短くなった防災支援物資を提供することにより、食品等の有効活用や地域福祉に寄与することを目的とした協定です。

災害支援協定

災害に関わる協定とは

災害が発生した際の緊急支援物資の提供や平時の地域防災訓練への参加など、市町との連携をすすめる協定です。



持続可能な生産と消費のために、 商品とくらしのあり方の見直し活動



メーカー、生産者とのパートナーシップ 地産地消

安心して食べられる食料の安定的な確保や、多様な産物を育む地域の活性化、環境保全を実現するための取り組みのひとつとして、「産消提携活動」をすすめています。

■わかめ産直訪問交流会

鳥羽市答志島を産直サポーターと職員が訪問し、「わかめ産直訪問交流会」を開催しています。学習・交流活動を通してつながりを大切にしたい顔の見える関係づくりを行っています。また、組合員の声を産地に届け、よりよい商品づくりにつなげています。



*産直サポーターは、組合員と産地との相互理解をさらに深めるための組合員組織です。

■顔が見える多気みかん 「栽培自慢」生産との交流

産消提携の取り組みとして産地見学や生産者との交流会を行っています。多気みかんの生産者との交流会では、農薬や化学肥料を地域慣行栽培より大幅に減らした「栽培自慢」の安心とこだわりを直接体感できる取り組みです。



■「コープの森づくり」植樹資金の寄付

「コープの森づくり」は、海の生き物と、それを育む森を守る活動を東海コープとして取り組みをすすめています。沖縄 恩納村の里海づくりや北海道 野付漁協のお魚を増やす植樹活動、インドネシア マングローブの森づくりの関連商品の利用1点につき1円を1年間積み立て、植樹活動資金として寄付しています。

(2025年度実績)

サンゴ植樹資金	180,274円
お魚を殖やす植樹資金	165,111円
マングローブ植樹資金	42,011円
合計	387,396円

■お米づくり体験（田植、収穫）

日々の食卓には欠かせないお米の大切さを学ぶ機会になるよう田植え体験、秋には稲刈りの「お米づくり体験」を毎年開催しています。今年は初めてJA伊勢の交流田をお借りし、春には三重のコシヒカリの苗の田植えを行い、秋には鎌を手にとって稲を刈り取る収穫体験を行いました。



参加者の声 当たり前のように食べているお米ですが、とても大変なお仕事だと思いました。

■親子うどんづくりで地産地消

食の大切さ、地元の魅力、そして環境問題について考えることをテーマに、三重県産小麦を使った「親子うどんづくり体験」を開催し、手打ちうどんに挑戦しました。



参加者の声 三重県の食の豊かさに改めて気づくのと同時に、地元のもの食べる大切さがよく分かりました。



エシカル消費

*エシカルとは「倫理的な」を意味する言葉です。地球環境や人間・社会・地域などに配慮した行動や考え方のことを、エシカルと表現します。

「誰かの笑顔につながるお買い物」をキャッチフレーズに、環境と社会に配慮したエシカル消費の取り組みをすすめています。

*コープの森づくり

関連商品の利用1点につき1円を積み立て、森を守る取り組みをすすめています。



●有機JAS認証

環境への負荷を減らした「有機栽培」で育てられた商品です。



有機栽培レーズン

●森の資源を守る

人と自然にとってより良い未来を築くのに適した方法で栽培されたことを意味します。
ra.org/ja



レインフォレスト・アライアンス認証
カカオ



カカオ70%・85%
チョコレート

●MSC認証

MSCの環境基準を満たして認証された漁業で獲られた水産物です。
msc.org



MSCラベル



骨取り
赤魚の煮つけ

●エコマーク

生産から廃棄を通して環境負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品です。

エコマーク商品



<http://goods.jocu.coop/ecomark.pdf>

エコマーク



■店舗で「エシカル消費」を学ぶ お買物ツアーを開催

環境に配慮した商品や地産地消の商品を店内の掲示物から探して学ぶ取り組みを、組合員が活動する伊勢エリア会とNPO法人Mブリッジが中心になってすすめています。楽しみながらエシカル消費について考える機会になりました。



来客者の声

今後、商品を購入する際には付いているマークやエシカルのことを意識したいと思います。

■アンゴラの学校づくりを支援する コアノンスマイルスクールプロジェクト

コアノンシリーズ1パック購入につき1円が、ユニセフを通じてアフリカのアンゴラ共和国に寄付され、子どもたちが楽しく学べる環境づくりに使われています。



コアノン
スマイルスクール
1パック購入につき1円がユニセフに

キャンペーン寄付額

第15期 (2024年11月1日～2025年10月31日)	1,717万3,080円
2010年～累計	1億8,899万3,743円

本誌のサステナビリティレポートは
FSC®認証紙を使用しています

FSC®認証紙とは、適切に管理された森林から生産された木材や、再生資源を原料として作られた紙のことです。



ミックス
紙に責任ある森林
管理を求めています
FSC® C007758

コープみえでは環境政策に基づく省エネ対策や、CO₂排出量の削減、廃棄物の削減など環境負荷の軽減に取り組み、環境に配慮した商品の普及をすすめています。コープみえの取り組みと組合員の活動を通じて、生物多様性の保全と地球温暖化の防止に努め、持続可能な社会づくりをめざしています。

環境美化運動に取り組んでいます

*海岸清掃活動

白塚海岸で実施している海岸清掃に生協間連帯、協同組合間協同での社会貢献活動として、コープみえの役員が参加しています。



*津駅周辺での清掃活動

国際協同組合年をきっかけに、協同組合間協同での社会貢献活動として津駅周辺の清掃活動を行いました。今後も協同組合どうしが連携して様々な取り組みをすすめていく予定です。



*宅配センターで生ごみ削減の取り組み

四日市センターでは、生ごみ処理箱「キエーロ」をセンター敷地内に設置し、事務所から出る生ごみを微生物の力で分解し、日々の可燃ごみの量を大幅に減らしています。

年間削減量 約390kg



みえスマートアクション宣言事業所における優良な取組事例に選定

店舗で実施している「ペットボトルの完全なリサイクルループの実現」に向けての取り組みが高く評価され、優良な取組事例に選定されました。

ペットボトルのリサイクルループ

ペットボトルを回収し、プライベートブランド商品の包材に蘇らせるリサイクルのしくみです。

ペットボトル回収量 716kg

利用者の声

専用回収ボックスに、回収されたペットボトルが商品の包材になった成果が掲示されていて、自分たちの使ったものが還元されていると実感を持てます。



環境活動寄付金贈呈

コープみえでは、環境活動に取り組む地域の環境活動団体への寄付を通じて活動に役立てていただくことを目的に2004年から行っています。2025年度は3団体の寄付先が決定し、環境活動寄付金贈呈式・環境活動団体交流会を開催しました。



団体名	寄付額
ウミガメネットワーク三重	100,000円
里山ラボ	99,406円
いなべの里山を守る会	100,000円

*寄付金の原資は、牛乳パック回収収入と環境活動積立金。

地球温暖化防止活動

ISOの取り組み（EMS、QMSの活動）

ISOの取り組みをすすめ、CO₂排出量等の削減やリサイクル、廃棄物削減を行っています。

温室効果ガス削減の取り組み

○施設・設備の省エネ化と車両の電動化をすすめています。

配送センター	LED照明への切り替え
店舗	店舗リニューアルに伴う太陽光発電の設置

○カーボンクレジットを県内の創出先から購入し、カーボン・オフセットをすすめています。



環境活動パフォーマンス報告、品質活動の報告

コープみえは、ISO14001規格にもとづき環境負荷低減の取り組みを行なっています。また、組合員や地域・諸団体とともに、生物多様性保全、地球温暖化防止に向けた環境活動をすすめています。日常的な省エネ活動や、夏場のエコスタイル、室温の温度管理、ノー残業デーやライトダウンの実施に取り組んでいます。

◆CO₂排出量削減に向けた環境負荷低減の取り組み

	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績
CO ₂ 排出量削減(kg)	873,123	1,074,816	935,734
電気使用量削減(kwh)	2,587,331	2,745,047	2,841,246
車両燃料消費抑制CO ₂ (kg)	593,754	559,376	502,794

コープみえでは2030年CO₂排出量 60%削減(2013年度比)を目標に取り組んでいます。

リサイクルを促進するエコセンター

エコセンターは、2016年に稼働し、コープぎふ・コープあいち・コープみえと東海コープで、循環型環境社会の実現への貢献をめざしリサイクルを推進しています。配送センターで回収している使用済みの商品案内やたまごパックを集積・圧縮して、環境資源として出荷しています。



	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績
商品案内書の回収	2,022t	1,955t	1,917t
(回収率)	75.5%	75.1%	74.3%
内袋の回収	34t	35t	32t
(回収率)	34.4%	34.8%	35.3%

牛乳パック、酒パックのリサイクルルートの変更

伊賀センターの牛乳パック、酒パックのリサイクルルートが変更され、コアレックス信栄株式会社と資源物回収契約を締結。コアノンロールに再生の循環が実現しました。



世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動の推進



生活困窮者支援

地域での生活困窮者や貧困・格差の問題に向き合った活動をすすめています。

*フードドライブの取り組み

宅配センターや店舗でのフードドライブの取り組みが活発にすすめられています。



*フードドライブとは

家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている地域のフードバンク等に寄付する活動のことです。

ユニセフ募金

コープみえの組合員、県内の諸団体のみならずとともに手を携えてユニセフ募金に取り組んでいます。



© UNICEF/UNI965200/Choufany

ベイルートの学校で避難生活を送る3歳のナジェスちゃん(左)と4歳のマリカちゃん(右)。ユニセフはおもちゃを提供しています。(レバノン、2026年3月17日撮影)

「ウクライナ緊急募金」	198,291円
「自然災害緊急募金」(ミャンマー地震)	333,840円
一般募金	
ユニセフ一般募金	2,006,840円

ハンガー・フリー・ワールド

組合員から書き損じハガキや使用済みの切手等を回収し、換金して、飢餓のない世界をめざして活動しています。

ハンガー・フリー・ワールド2025年度換金額 (書き損じハガキキャンペーン)	3,132,616円
---	------------

核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動の推進



平和

*平和イベント

「牛乳パックで作るうごく第五福竜丸」を開催

次の世代へ平和の大切さを感じてもらうための平和イベントを毎年開催しています。ビキニ環礁で被爆した第五福竜丸の物語を通じて、子どもから大人までが平和について深く考える時間になりました。



参加者の声

漁船には若い世代が多く乗っており被害に遭ったことを知りました。若い命が消えていたことに心が痛みます。

*国民平和大行進、ハート平和行進

ハート平和行進・国民平和大行進にコープみえも毎年参加し、三重県内各地で核兵器廃絶・戦争反対をアピールし、平和のバトンをつないでいます。



誰もが安心して暮らし続けられる地域社会づくりへの参加



震災支援・災害支援

地域と連携した災害に備える取り組み

大規模災害発生時における円滑な対応と地域防災力の強化に貢献するため、津市総合防災訓練へ参加し、災害時にスムーズに対応できるよう地域とのつながりを深めています。



東日本大震災支援

- 福島県で今もなお避難生活を強いられている方々と、ふれあいサロンにおける交流やつながりカレンダーの活動を通して交流を続けています。



- 震災・防災学習会「福島の15年から防災を考えよう」を開催
福島県飯舘村の語り部による東日本大震災の当時の模様や教訓について学びました。



参加者の声

東日本大震災の教訓を生かし、防災の備えをしていくことの大切さを学びました。

防災教室の開催

夏休み前の子どもたちを対象に「防災キャンプ」(～あなたの命を守るのは、あなた自身です～)をテーマに開催し、子どもたちが災害から「自分の命は自分で守る」ための実践的な学びを深めました。



子どもにやさしい空間 ～CFS～

災害や事故などの緊急事態において、避難した先で子どもたちが安心して安全に過ごす事ができる場づくりの取り組みをすすめています。



*安全運転の取り組み

コープみえ安全運転指針を基本とし、地域の方が安心して暮らし続けられるよりよい地域社会づくりに貢献する取り組みとして安全活動をすすめています。役職員が体験する機会づくり、地域の安全を守る活動が続けることで役職員一人ひとりの意識を高め、安全行動の習慣化を図っています。



交通事故発生推移表

年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
発生件数	74件	58件	40件	59件

地域へのお役立ち

事業活動を通じた見守り活動

コープみえでは、夕食宅配弁当のお届けを通じて、定曜日配達を活かした見守り活動に取り組んでいます。離島を除く県内全域で配達を行っており、介護・医療食や冷凍おかずセットも取り扱っています。2026年度からは新たに、夕食宅配弁当に加え、昼食弁当のお届けを開始しました。



利用者の声

毎日栄養バランスを考えた食事を自分で用意するのが大変でしたが、夕食宅配を利用するようになってから食生活が安定しました。配達時に声をかけていただけるのも安心につながっています。

夕食宅配の 配達カバー率	99.8% (離島を除く県内全域)
緊急連絡先登録率	36.1%

夕食宅配数の推移(1日あたり食数)



地域の安全見守り活動

県内9市町の小学校周辺で通学時間帯に横断歩道に立ち、地域の方と一緒に安全の見守り活動を行っています。子どもたちの安全を守り、地域の交通事故防止へ積極的に貢献しています。



小学校からのメッセージ

横断歩道付近に立っていただくことにより、事故防止の意識づけにもなり助かりました。

全国高校サッカー選手権 三重県大会に協賛

日本コープ共済生活協同組合連合会（コープ共済連）は、未来ある若者の成長を応援するため、第104回全国高校サッカー選手権三重県大会に協賛しています。



子育て支援

地域で活動する子育てに関連した団体間の交流支援や子育てひろば、FM三重「子育てコープ」、わくわくキッズフェスタの開催などに取り組んでいます。



横断旗を松阪市内の小中学校に寄贈

コープみえとこくみん共済COOPが取り組む「7才の交通安全プロジェクト」の一環として、マイカー共済の見積もり1件につき横断旗1本を学校や関連の団体などに贈呈しています。



2025年度贈呈数

横断旗本数	贈呈学校数
414本	47校(小中学校36校・中学校11校)

「7才の交通安全プロジェクト」とは

「小学生になり行動範囲がひろがる7才の子どもたちを地域で見守ることで、交通事故をなくしていきたい。」そんな想いから2019年から始まった活動で、累計155万本以上を寄贈しています。

「たべる＊たいせつキッズ料理会

子どもたちの「食べることや食べ物」への興味を引き出し、自ら育つ力を伸ばす場として料理会を開催しています。



福祉活動寄付金贈呈式＆交流会を開催

三重県で活動する福祉団体のみなさんに寄付金を贈呈しました。福祉活動寄付金は、福祉に関する取り組みをすすめる団体や障がい者施設、福祉施設などを応援する取り組みで、今年度は7団体に総額490,000円を寄付しました。



2025年度福祉活動寄付金贈呈団体と寄付額

寄付先	寄付額
NPO大紀町日本一のふるさと村	50,000円
三重県多胎育児サークルふたば	70,000円
だーこキッチン	50,000円
パープルリボンくまの	100,000円
障害や病気を持つ子供達とその家族のための素敵空間はあとくらぶ	100,000円
はらいがわ自然体験グループ	50,000円
アーナンダ	70,000円

くらしのサポート

ほほえみ制度は、宅配利用料の割引制度です。赤ちゃんサポート、子どもサポート、シニアサポート、福祉サポート、免許証返納サポートなど幅広い世代の支援を行っています。

LPAの会（ライフプランニング活動）

LPAの会では、コープ共済連「LPA養成セミナー」を受講し、資格を取得された組合員が生命保険の見直しや学習会をはじめ、くらしのお金と保障に関わるさまざまな学習会を各地域で開催し、人生設計のお手伝いをしています。



くらしたすけあいの会

困った時はお互いさまの精神で、組合員が行う有償の福祉活動です。高齢者や障がいのある方、産前産後や子育て家庭、病気やケガでお困りの方へ掃除、洗濯、買い物、食事づくりや話し相手、通院や外出の付添い、行事やご家庭での託児などを行っています。



三重医療福祉生協と共催企画で「キッズクリニック」を開催

子どもたちが医師や看護師の仕事体験し、医療のことを学ぶ機会になっています。



検査センターの取り組み

東海コープ商品検査センターでは、組合員からの出資金をもとに検査体制と検査設備、検査項目の充実を図っています。生協で企画している商品の微生物や残留農薬、食品添加物、放射性物質などの検査を実施し、安全品質を確保する取り組みをすすめています。



2025年度の検査（2025年3月21日～2026年3月20日報告）

検査名	実施数	適合率
微生物検査	9175件	94.1%
残留農薬検査	523件	98.8%
食品添加物	35件	100.0%
放射性物質検査	45件	100.0%

商品検査センターでは食の安全安心、食と健康に関わる情報を提供しています。ウェブサイトをぜひご覧ください。



女性職員交流会を開催

女性特有の健康課題やコープみえの福利厚生について学び、職員同士のネットワークづくりにつなげることを目的として開催し、意見交流を行いました。



スポーツ交流会

スポーツを通じて職員交流がすすむことを目的に開催され、ソフトバレーやバドミントン、卓球の種目で行われ、職員同士の絆が深まりました。



育児休業取得

コープみえでは誰もがいきいきと働き続けることができる職場環境づくりに取り組み、仕事と家庭の両立を支援しています。

育児休業または育児目的休暇(出生休暇)の取得率

年度/性別	男性	女性
2022年度	100%	100%
2023年度	100%	100%
2024年度	100%	100%
2025年度	100%	100%

職員の声
(鈴鹿センター)

自身の子どもの成長を肌で感じることができた育児休業でした。寝不足で大変な日々でしたが、貴重な経験ができ、一生の宝物です。職場のみなさんも快く承諾してくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。



ハラスメント研修

5、6月に階層別、2026年1、2月に全職員対象のハラスメント防止研修を実施しました。



参加職員の声
(伊賀センター)

関心のある目標を設定したことで、意識的に時間を確保できるようになり、プライベートを充実させることが出来ました。



三重とこわか健康経営カンパニー、経済産業省健康経営優良法人認定取得

三重とこわか健康経営カンパニーは企業における健康経営の取り組みの認証制度であり、コープみえは4年連続で同認定を取得しています。また、経済産業省の健康経営優良法人に3年連続で認定されています。



マイヘルスアップキャンペーンで健康づくり

健康づくりに対する意欲向上や健康的な生活習慣・運動習慣の定着を目的とした取り組みをすすめています。

24年度参加者数	162人	達成者数	86人
25年度参加者数	187人	達成者数	107人

内部統制システム

*コープみえの機関運営と組織、内部統制・マネジメントの取り組み

コープみえは、生協法をはじめ関係法令及び定款等に則った機関運営や業務執行の強化に努めています。

*機関運営と組織

最高決定機関である総代会での決定に基づき理事会、常務理事会で日常執行がすすめられています。理事会の執行を監事会が監査し、決算会計については、監査法人による外部監査を実施しています。

*内部統制活動

2025年度内部統制システム推進の基本方針に基づき、内部統制活動をすすめてきました。

基本方針	2025年度の主な取り組み
1. 理事及び職員の職務の執行が、法令及び定款などに適合していくための体制を整備し、取り組みをすすめる。	・法令等の制定、改正の情報収集や遵守監視・確認を毎月開催される内部統制推進委員会で共有してきました。 ・職員ハンドブックを全職員に配布し、周知・徹底をはかりました。 ・コンプライアンス及びハラスメントの管理者研修会を実施しました。またウェブによる意識調査アンケートを実施し、各職場で調査結果の共有とまとめを実施しました。 ・通報・相談窓口の周知と対応をすすめ、ハラスメントの内部相談窓口に5件、外部相談窓口に7件の相談がありました。
2. 生協の事業および財務の状況の情報開示、理事の職務執行に関わる情報管理を適切に行う体制を整備し実行していく。	・個人情報保護、機密情報管理の一般学習会を実施しました。 ・個人情報、機密情報の台帳メンテナンスや事故発生の監視と対応をすすめました。 ・パソコン管理基準に基づくセルフチェック等を実施しました。
3. 事業の遂行の障害や損失の要因となる「リスク」を管理し、損失予防や緊急事態に備える体制を整備し、実行していく。	・重要リスク評価と重点リスクの特定と対応計画を作成し、内部統制推進委員会で確認してきました。 ・管理者対象にリスクマネジメント研修会を開催しました。 ・事故・ヒヤリハットの事例の集約と予防への予防対策を実施しました。 ・災害マニュアル、避難マニュアルの整備やMCA無線、緊急時の連絡網の訓練等が実施されました。
4. 理事および職員の業務の執行が効率的に行われるしくみや体制を整備していく。	・2025年度の体制変更に伴い、規程集の更新、整備をすすめ、ウェブでの閲覧を実施しました。 ・内部統制に関するセルフチェックを実施しました。 ・ISO9001の運用のなかで、業務フローの見直しや業務改善等をすすめました。 ・統合された内部統制の内部監査とMS内部監査を、全部署で実施しました。
5. コープみえの関連する会社等における業務の適正を確保する体制を整備していく。	・関係会社管理規程に基づき、関連会社となる(株)スマイルサービスみえの総会への参加や対応をすすめました。
6. 監事監査および監査業務が実効的に行われる環境を整備していく。	・監事会と代表理事の定期懇談や経営組織監査を実施しました。

〈サステナビリティレポート第三者評価〉

コープみえは、2025年度もこれまでの活動を継続しながら、また新規に活動の幅をひろげながら、コープみえの基本理念とSDGsの実現に向けて、人と環境に優しい様々な活動を行いました。2025年度は、みえスマートアクション宣言事業所における優良な取組事例に選定、三重とこわか健康経営カンパニー(4年連続)に認定、経済産業省健康経営優良法人(3年連続)に認定されており、健全で安定した経営が継続していることが分かります。

「連携」という視点で活動を見ると、2025年は国際協同組合年ということで、生協間連携・協同組合間協同での海岸の清掃活動や、協同組合間協同での津駅周辺の清掃活動を行っています。その他、コープみえの組合員同士が支え合う活動、メーカー・生産者とのパートナーシップ活動、地域との協定締結、東海3生協の宅配統一ブランド「タノモット」の誕生やエコセンターの運営な

ど、多様な主体との連携が見られます。連携活動を通してパートナーシップを強固にしていくことは、持続可能な組織や社会づくりにつながっていくものと思われ、今後のさらなる活動の進展を期待したいところです。

コープみえは、「2030年到達目標(めざすもの)」として、「SDGs 7つの取り組み」とその「主な到達目標(めざすもの)」を示していますが、レポートの内容と突き合わせてみると、現時点での到達点に分かりにくい部分があります。2030年まであと5年ですので、現時点での活動の振り返りをし、5年先の「主な到達目標(めざすもの)」について見直しをしても良い時期に来ているのではないのでしょうか。

吉本 敏子(消費者市民ネットワークみえ代表 三重大学名誉教授)

女性職員比率推移グラフ、労災事故発件数、障がい者雇用率の推移

女性職員比率の推移(ゼネラル・エリア職員)

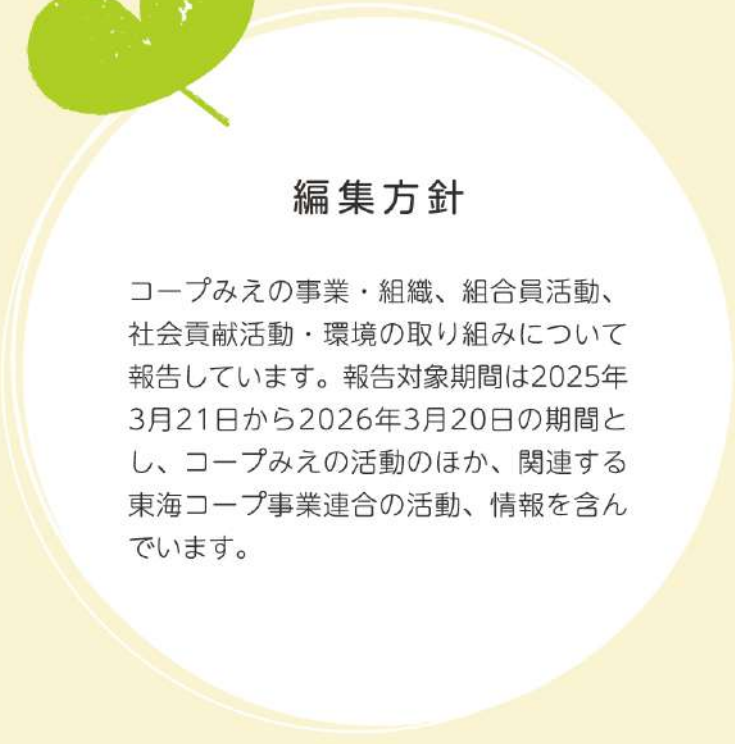


労災事故発件数の推移



障がい者雇用率の推移





編集方針

コープみえの事業・組織、組合員活動、社会貢献活動・環境の取り組みについて報告しています。報告対象期間は2025年3月21日から2026年3月20日の期間とし、コープみえの活動のほか、関連する東海コープ事業連合の活動、情報を含んでいます。



生活協同組合 コープみえ

2026年 コープみえ
サステナビリティレポート

発行月：2026年6月

お問い合わせ先

〒514-0009 三重県津市羽所町379
生活協同組合コープみえ 機関運営部
TEL 059-271-8507 FAX 059-222-5025
ホームページ <https://www.coop-mie.jp>



ホームページ

